

保護者

地域

学校運営  
協議会

NPO

関係  
機関

★授業研究⇒学力向上

ねらいの明確な授業

話し合い、高まり合う授業⇒言語活動

※国語科を軸として、培った資質・能力（読解力・表現力・言語活動）を、他教科・生活科・総合的な学習の時間で活かす。

★生徒指導

⇒自己指導能力の育成

「消極的な生徒指導」から

「積極的な生徒指導」へ

「報・連・相」・気配り・目配り・

思いやり

分かる喜びが感じられる授業創り

一人一人を大切にした学級経営

※三機能 自己決定の場を与える

情報活用能力の育成

【学校教育目標】

学びを活かし、

未来を創る子どもの育成

【目指す子ども像】  
自ら学び続ける子  
共に学び認め合う子  
学びを活かす子

★人権教育⇒自分も人も大切に

にし、人権尊重を規範とした日常の行動がとれる子の育成

優しい心・正しく強い心を、

言葉で表し、行動で示せる子

※人権としての教育

人権を通しての教育

人権についての教育

人権のための教育

今年度の重点～共に学び認め合う力～

互いの良さを認め合う・見方考え方を広げ深める・新しい学びを創る ⇒ 図書館活用、GIGAスクール構想（ICT「活用」での情報収集・情報活用能力の育成、言語活動の充実

・自分で調べ、考え、まとめ、自分のことばで考えを説明できる子 ⇄ 相手の考えや意見を認め合える子  
・互いの違いを認め合い、学び合い、高め合える学級集団

「すすんで あ(挨拶) そ(掃除) べ(勉強) き(きまりを守る)」

学力向上最優先課題、「学力保障なくして子どもの人権尊重はない」という認識の下、「自ら学ぶ力」、「自ら律する力」を育む。⇒学習意欲を高める授業を通して自ら学びに向かう力の育成・毎日の家庭学習により主体的な学びにつながる自学自主の習慣化・自他を大切にする態度の育成・公共の精神に基づく態度の育成

目指す教職員像～人間性豊かで、子どもに力をつける教職員～

○授業を大切にし、授業で勝負する教師 ○学校課題に一致団結して取り組む教職員

○気配り、目配り、思いやりを大切にする教職員 ○子どもと共汗（共感）できる教職員

「資質・能力の三つの柱を偏りなく育成すること」

(1)「何を理解しているか、何ができるか」：知識及び技能

(2)「理解していること・できることをどう使うか」：思考力、判断力、表現力等

(3)「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」：学びに向かう力、人間性等

生きる力を育む・・・確かな学力 豊かな心 健やかな体を育む調和のとれた教育活動

教育基本法 学校教育法 学習指導要領 京都市学校教育の重点